

JA全農ウィークリー

J A Z E N - N O H W E E K L Y

Web版
JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>



2面

折原会長がスイスの
ZHD社を訪問

(畜産生産部)

3面

乳肉複合農場
「全農美土里ファーム」
が稼働 (福島県本部)

配送先変更(住所・宛名)、
配布部数変更はこちら



<https://forms.cloud.microsoft/r/uvWgU72VtZ>

全農 ZEN-NOH

食と農を未来へつなぐ。

「全農辰美土里ファーム」が稼働

福島県内畜産・酪農生産基盤の復興拠点に

福島県本部の子会社・(株)辰美土里耕産は、建設を進めてきた乳肉複合農場「全農辰美土里ファーム」の稼働を始め、4月17日に福島県田村市で竣工式を開きました。同農場は東日本大震災に伴う原発事故の影響で縮小した原子力被災12市町村の畜産・酪農の再建を目的に建設したものです。

【福島県本部】

関係者によるテープカット



完成した全農辰美土里ファーム

全農辰美土里ファームは、乳牛約1200頭、和牛繁殖牛約50頭など、合計2650頭を飼養予定の大規模乳肉複合農場です。原発事故のため避難を余儀なくされた原子力被災12市町村内の畜産・酪農の生産基盤の復興を目指し、国・県の復興事業を活用して設立しました。整備した施設の延床面積は約5.8畝。省力化と生産性向上のため搾乳ロボットなどの最新機器を導入しています。

生乳、和牛子牛生産で地域貢献

農場では、日量約30㍏、年間約1万1000㍏の生乳を生産するとともに、受精卵移植技術を活用して乳牛から和牛子牛を生産し、被災12市町村管内の畜産農家に優先的に供給する予

定です。また、地域の飼料作物生産者との耕畜連携を進め、除染で低下した地力の回復および地域産飼料作物の有効活用に取り組みます。

竣工式には農水省や復興庁などの行政機関のほか、桑田義文理理事長をはじめ本会関係者約50人が出席しました。美土里耕産の安達正則社長が「被災地の畜産復興に貢献し、県内畜産生産の拠点になるよう取り組んでいきたい」とあいさつしました。

農場では今年2月から乳牛を導入しており、今後約3年間で最大頭数まで徐々に増頭する予定としています。

全農グループの人材・知見活用

同ファームの取得、運営開始にあたっては、美土里耕産と福島県本部、畜産生産部および関係するグループ会社が連携し、グループ内外農場での長期研修を

通じて、従業員の育成を行ってきまして。そのメンバーたちが即戦力として農場の運営に取り組んでいます。

また、稼働開始段階から全農畜産部門の3研究所（飼料畜産中央研究所、家畜衛生研究所、E1研究所）との連携を密にし、全農グループの知見を農場運営に反映するとともに、農場で実践した結果をフィードバックするなど、相互の技術の底上げに取り組んでいます。

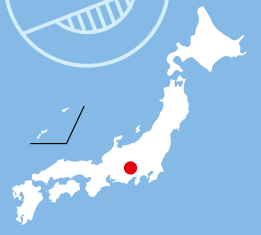
同ファームは復興のシンボルとなるよう、力を尽くしていきます。



生乳の出荷もスタート！搾乳ロボットは今後稼働予定



農場で生まれた乳牛の子牛 元気に育っています！



果実450億円・野菜32億円を目標に 山梨県果実・野菜生産者大会で決意

山梨県本部は4月9日に「令和8年度山梨県果実・野菜生産者大会」を甲府市アピオタワー館で開催し、今年度は果実450億円・野菜32億円を販売目標とすることを決意しました。



目標達成へ頑張ろう三唱



感謝状を贈る小池会長(右)と受賞者



あいさつする桑田理事長



取引指定証を交付する笠井県本部長

産の拡大」「地域の活性化」といった持続可能な農業基盤の構築に向けたこれらの目標を広く共有することも重要な目的です。

系統共販を基本に販売強化

大会には来賓の長崎幸太郎県知事のほか、小池一夫県本部運営委員会会長、全農の桑田義文理事長をはじめ県内の生産者・市場関係者・JA役員ら約250人が参加しました。大会は毎年開催され、農業者への感謝の意を表すとともに、品質向上に向けた情報共有や関係者間の連携を強化する貴重な機会となっています。加えて、「農業者の所得増大」「農業生

今大会も、山梨県内の果実・野菜生産者の総意を結集し、系統共販を基本とする販売強化に取り組みとともに、安全・安心・高品質な果実・野菜の生産振興並びに指定市場などの流通関係者と連携した有利販売への取り組みにより、生産者の手取り

拡大、持続可能な山梨農業の実現を目指すことを誓いました。

さらに、青果物の販売取引額上位の企業や長年、山梨県

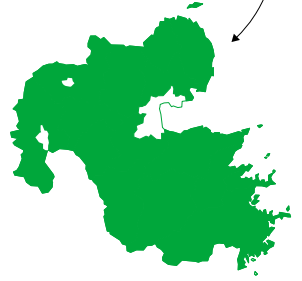
産果実の販売や生産振興に功労があった各受賞者に長崎知事、小池会長、桑田理事長が感謝状を贈り、功績をたたえました。小池会長は、「安心・安全でおいしい山梨の農産物の生産振興に努め、市場などの流通関係者と連携した販売に取り組み、持続可能な農業の実現を目指す」とあいさつしました。

「シャインマスカット」振興へ

また、笠井県本部長が令和8年度も「生産・販売力の強化」「ブランド力の強化」に注力し、生産拡大が続く「シャインマスカット」の品質確保に向けた国内初となるブドウ房選果機の実証に取り組みとともに、JA統一シャインマスカット品評会、県オリジナル品種など、優良品種の早期産地化、東南アジアを中心とした輸出の促進に取り組みと話しました。

山梨県本部は持続可能な農業基盤の構築に向け、引き続き取り組んでいきます。

地域の営農と暮らしをつなぐ 新たなサイト「いこっと」開設



JAおおいたは、組合員や地域の皆さまとのつながりを深めることを目的に、新たな総合案内サイト「いこっと」を開設しました。これまで運用してきた内サイト「いこっと」を刷新し、組合員向けアプリを刷新し、誰でも手軽に閲覧できるウェブサイトに型プラットフォームへと機

能を移行することで、JAをより身近に感じていただけるサイトとなっています。

役立っ情報を分かりやすく幅広く
今回のサイト開設は、管理コストの効率化やセキュリティ

のさらなる強化を進めるとともに、必要な情報の「見つけやすさ」を主な目的としています。特定の端末や設定に依存せず、スマートフォンのブラウザからいつでも情報を確認できる環境を構築したことで、時機を捉えた柔軟な情報提供が可能となりました。

すく整理しました。各種ローンキャンペーンや直売所のイベント情報、採用活動や葬祭サービスなどの紹介など、組合員や地域の皆さまのライフスタイルに寄り添ったコンテンツを随時発信していきます。

JAの活動紹介 地域活性化にも貢献

「いこっと」という名称には、「JA直売所にいこっと」「JA窓口へいこっと」と、気軽に足を運んでいただきたいという思いを込めています。この新たな情報ツールの運用を通じて、JAおおいたの組織活動をより分かりやすく発信し、組合員や地域の皆さまとの信頼関

係を深めながら、各施設の利用促進や組合員加入のきっかけづくりなど、地域社会の活性化につなげていきます。

JAおおいたは、これからの丁寧な情報発信に努め、皆さまにとってより便利で、より身近な存在であり続けることを目指します。



概要	2026年3月31日 現在
正組合員数	4万8348人
准組合員数	5万1554人
職員数	1761人
販売品取扱高	385.6億円
購買品取扱高	183.8億円
貯金残高	5,491.4億円
長期共済保有高	1兆5616億円

米、輪菊、トマト、ピーマン、スイートピー、イチゴ、カボス、主な農産物…ブドウ、梨、白ネギ、ニラ、小ネギ、豊後牛、高糖度かんしょ、ハウスミカン

営農と暮らしをつなぐ「いこっと」の画面

もっと見やすく、もっと使いやすく。

JAおおいたの総合案内サイト

いこっと がスタート!

JAおおいた公式アプリは令和8年4月より総合案内サイトへ移行しました。

JAおおいたでは、組合員の皆さまはもちろん、地域の皆さまにもJAおおいたをもっと身近に感じていただけるよう、新しい総合案内サイトを公開しました。スマートフォンで見やすく、使いやすく、必要な情報をよりわかりやすくお届けします。

総合案内サイト「いこっと」で確認できる情報

- 組合員証の表示
- 緊急連絡先
- 注目情報やキャンペーンのお知らせ
- 農業に関する情報
- お金や共済に関する情報
- 購買店舗や直売所の情報
- ガソリンスタンドやLPガスの情報
- 福祉やお葬式に関する情報
- お問い合わせ先

総合案内サイトのポイント

操作がシンプルで使いやすい
必要な情報を探しやすく、シンプルなページです。

知りたい情報にすぐアクセスできる
組合員証の表示や緊急連絡先、キャンペーン情報などを、わかりやすくまとめています。

JAおおいたをもっと身近に感じられる
組合員向けの情報だけでなく、地域の皆さまにもJAの取り組みや役立つ情報をわかりやすくお届けします。

ホーム画面に追加して、すぐ開ける
よく使うページを、必要なときにすぐ確認できて便利です。

「いこっと」を紹介するチラシ

総合案内「いこっと」は、営農から暮らしまで幅広い情報を集約した「総合案内ページ」として機能し、組合員カードの提示や組合員特典案内のほか、日々の農業経営に役立つ営農情報、グリーン店や農機センター、直売所といった各施設の情報を分かりや

優勝した
鹿島アントラーズ
つくばジュニア



5月5日
こどもの日に

JA全農チビリンピック 2026

親子9700人が楽しく熱戦展開

～JA全農チビリンピック2026が開催されました～

開会式

全農が特別協賛する「第48回JA全農チビリンピック2026」が5月5日のこどもの日に、横浜市の日産スタジアムなどで開かれました。今年で40年目の特別協賛となる今大会も全農所属の石川佳純さん、高橋尚子さんから豪華ゲストをお招きしてスポーツを楽しみました。
【広報・調査部】

競技

開会式では尾本英樹代表理事専務が「私たち全農は皆さんがスポーツを楽しみ、これから健やかに成長するために、『食べる』大切さを伝えたいと考えています。参加選手の皆さん、本日は元気いっぱい頑張つて、楽しい思い出を作ってください」とあいさつ。

日産スタジアムでは、親子マラソンやミニマラソン、マラソンリレー、50歳以上/100歳以上が行われ、子どもたちが日ごろの練習成果を競い合いま

卓球

決勝戦は鹿島アントラーズつくばジュニア(茨城県)と川崎フロンターレU12(神奈川県)が対決。互いに二歩も譲らぬ展開が続く中、第3ピリオドで鹿島アントラーズつくばジュニアが得点を挙げました。そのままリードを守り切り鹿島アントラーズつくばジュニアが勝利、4大会ぶり2度目となる優勝を飾りました。

港北スポーツセンターでは、「JA全農杯チビリンピック小学生卓球選手権大会」を開催。ホープス(6年生以下)、カブ

情報発信

本会X「全農広報部スポーツ応援」アカウントでは、開催状況を都度更新、サッカーキングと日刊スポーツアカウントでは中澤佑二さん、岩淵真奈さんの解説のもと、「JA全農杯全国小学生選抜サッカー決勝大会」決勝戦をライブ中継しました。

全農X
「全農広報部スポーツ応援」
アカウント



日刊スポーツ
公式YouTubeアカウント



サッカーキング
YouTube



TikTokでの配信



ゲスト一覧

アニマル浜口さん、高橋尚子さん、吉田沙保里さん、里崎智也さん、中澤佑二さん、岩淵真奈さん、石川佳純さん(全農)



盛り上がったお肉クイズ



鹿島アントラーズつくばジュニア(黒ユニフォーム)と川崎フロンターレU-12(青ユニフォーム)



親子マラソン



聖火の点灯



石川佳純さんとの対決



あいさつする尾本専務



ラジオの公開生放送



マラソンリレー

出展ブースでは、全農の商品ブランドである「ニッポンエール」の商品や神奈川県産商品などの販売、「和牛」「国産焼きもち」などのサンプリングを行い、来場者に振る舞い

お楽しみ広場

（4年生以下）、バンビ（2年生以下）の各カテゴリー男女に分かれ熱戦を繰り広げました。また、石川佳純さんが子どもたちと卓球対決をしました。



表彰式で国産農畜産物を贈呈

表彰式

表彰式では尾本専務から各種目の入賞者へ副賞として、「黒毛和牛焼肉用」や「九州産若鶏」、「お米」などを贈呈しました。各種目の参加者には参加賞として、ニッポンエール商品や「カフェオレ」などを贈り、子どもたちを激励しました。全農はこれからも、子どもたちの健康づくりやスポーツ選手の育成をサポートしていきます！

“大分県産
マリンレモン®味”
新発売



フェットチーネグミPREMIUM
大分県産マリンレモン®味

セルフメンテナンス
手順を動画で
解説

共乾施設の メンテナンスコスト低減へ

米麦などの共乾施設では近年、メンテナンスコストの増加やメーカーの要員不足により、オペレーター自身による保守点検の必要性が高まっています。そこで施設農住部は、YouTube動画配信を活用し、軽微なメンテナンスに関する知識・技能の習得を支援しています。【施設農住部】

経験の浅いオペレーターはセルフメンテナンスを実施する際、紙媒体のマニュアルでは作業方法、特に手元の動きが分かりにくい場合があります。

同部が2025年8月に実施したオペレーターアンケートでも、「作業しながら動画で確認したい」という意見が多数寄せられました。これらの声を踏まえ、ベルトコンベアの調整やVベルトの交換など、オペレーター自身で対応可能な作業を中心に、1本5分以内の動画を、YouTube上で配信しています。



セルフメンテナンスの紹介動画

ブルボン× ニッポンエール第5弾

全農と(株)ブルボンは、コラボレーション企画第5弾として、「フェットチーネグミPREMIUM大分県産マリンレモン®味」を開発しました。全国のコンビニエンスストア、量販店などで5月26日から期間限定で発売しています。【営業開発部】

ブルボン×ニッポンエール第5弾として、「フェットチーネグミ」の弾む噛みごちに、大分県佐伯市特産のレモン「マリンレモン®」の果汁を組み合わせたプレミアム仕様の商品です。さわやかな香りとみずみずしい酸味が後引くジュシーなおいしさをお楽しみいただけます。

「マリンレモン®」は佐伯市で生まれ、海風と太陽の恵みをたっぷり受けた特別なレモンです。収穫が始まる9月からは鮮やかなグリーン、12月からは美しいイエローに変わり、その時期ごとの香りと味わいが楽しめます。

全農とブルボンは、今後も特徴ある国産果実を使用した商品開発を進めていきます。※「マリンレモン®」は佐伯市の登録商品です。



3,000円
(税込み)

新鮮ぐんま みのり館

1箱(15~16玉) ぐんまの誇る
「フルーツトマト“ブリックスナイン”
(JAにっただみどり)

JA全農の産地直送
通販サイト

JAタウン
ショップ紹介

その名の通り、糖度(ブリックス値)平均9度以上を誇るトマト「ブリックスナイン」。一般的なトマトに比べて甘みが強く、厚みのある果肉とコクのある味わいが特徴の、群馬県が誇るフルーツトマトです。四半世紀以上、「甘くておいしいトマトを届けたい」という思いのもと、味を追求し続けてきました。トマト栽培に恵まれた気候や土壌に加え、水分吸収をコントロールする「根域制限栽培」により、濃厚な甘みを引き出しています。さらに、糖度センサーで確認し、基準を満たしたトマトを自信を持ってお届けいたします。期間限定で味わえる、コク深い甘みをぜひお楽しみください。

(JAタウンはこちら) <https://www.ja-town.com>
(お問い合わせは) shop@ja-town1.com

ご注文は
こちらから

